

gTLD等ドメイン名登録等に関する技術細則 変更点

gTLD等ドメイン名登録等に関する技術細則（修正履歴付き）	gTLD等ドメイン名登録等に関する技術細則（整形版）	備考
<p style="text-align: center;">株式会社日本レジストリサービス</p> <p style="text-align: center;">公開：2010年11月 1日 改訂：2011年 6月20日 改訂：2011年11月 1日 改訂：2012年 5月21日 改訂：2013年11月12日 改訂：2014年 7月14日 実施：2014年 7月21日 <u>改訂：2015年 4月13日</u> <u>実施：2015年 4月19日</u></p> <p style="text-align: center;">gTLD等ドメイン名登録等に関する技術細則</p> <p>目次</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 登録可能なgTLD等ドメイン名の文字種別と文字列 2. gTLD等ドメイン名の種類と構成 3. 申請文字列の正規化 4. ネームサーバ設定における日本語ラベルのエンコーディング 5. gTLD等ドメイン名に設定可能な署名鍵の形式 6. 制限事項 <ol style="list-style-type: none"> 6.1 ネームサーバホスト名における制限事項 6.2 電子メールアドレスにおける制限事項 6.3 URIにおける制限事項 6.4 ネームサーバ設定における制限事項 6.5 署名鍵における制限事項 7. 予約ドメイン名 8. 各gTLD等ドメイン名個別の技術上の要件 9. 本技術細則の例外 <p>付録1 互換用文字 付録2 正規化における文字置換の方式 付録3 正規化における文字合成の方式 付録4 日本語文字一覧</p> <p>1. 登録可能なgTLD等ドメイン名の文字種別と文字列</p>	<p style="text-align: center;">株式会社日本レジストリサービス</p> <p style="text-align: center;">公開：2010年11月 1日 改訂：2011年 6月20日 改訂：2011年11月 1日 改訂：2012年 5月21日 改訂：2013年11月12日 改訂：2014年 7月14日 改訂：2015年 4月13日 実施：2015年 4月19日</p> <p style="text-align: center;">gTLD等ドメイン名登録等に関する技術細則</p> <p>目次</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 登録可能なgTLD等ドメイン名の文字種別と文字列 2. gTLD等ドメイン名の種類と構成 3. 申請文字列の正規化 4. ネームサーバ設定における日本語ラベルのエンコーディング 5. gTLD等ドメイン名に設定可能な署名鍵の形式 6. 制限事項 <ol style="list-style-type: none"> 6.1 ネームサーバホスト名における制限事項 6.2 電子メールアドレスにおける制限事項 6.3 URIにおける制限事項 6.4 ネームサーバ設定における制限事項 6.5 署名鍵における制限事項 7. 予約ドメイン名 8. 各gTLD等ドメイン名個別の技術上の要件 9. 本技術細則の例外 <p>付録1 互換用文字 付録2 正規化における文字置換の方式 付録3 正規化における文字合成の方式 付録4 日本語文字一覧</p> <p>1. 登録可能なgTLD等ドメイン名の文字種別と文字列</p>	<p>凡例： <u>赤字（下線付き）</u>：追加 青字（取消線付き）：削除</p> <p>公開日・実施日を記載</p>

gTLD等ドメイン名登録等に関する技術細則（修正履歴付き）	gTLD等ドメイン名登録等に関する技術細則（整形版）	備考																																																
<p>株式会社日本レジストリサービス（以下「当社」という）が取り扱う「gTLD等ドメイン名登録等に関する規則」（以下「登録規則」という）別表「gTLD等ドメイン名一覧」のドメイン名（以下「gTLD等ドメイン名」という）における文字種別と文字列を以下に規定する。</p> <p>「ドメイン名」は、ラベルをピリオド（"."）で区切って連結した文字列である。</p> <p>「ラベル」は、本技術細則により定められるASCIIラベルおよび日本語ラベルにより構成される。</p> <p>「ASCIIラベル」は、英字（"A"から"Z"）、数字（"0"から"9"）、ハイフン（"-"）からなる文字列である。ただし、ASCIIラベルの先頭と末尾の文字はハイフンであってはならない。ASCIIラベルの長さは、63文字以下でなければならない。ASCIIラベル中では、英字の大文字・小文字の区別はなく同じ文字とみなされる。</p> <p>「日本語ラベル」は、本技術細則により定められる日本語文字を1文字以上含む、日本語文字および英字（"A"から"Z"）、数字（"0"から"9"）、ハイフン（"-"）からなる文字列である。ただし、日本語ラベルの先頭と末尾の文字はハイフンであってはならない。日本語ラベルの長さは、15文字以下でなければならない。日本語ラベル中では、英字の大文字・小文字の区別はなく同じ文字とみなされる。</p> <p>「日本語文字」は、「JIS X 0208:1997 7ビットおよび7ビットの2バイト情報交換用符号化漢字集合」（以下「JIS X 0208:1997」という）における符号表のうち、次にあげる文字により構成される。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 4区の文字（平仮名） (2) 5区の文字（片仮名） (3) 16区から84区の文字（漢字） (4) 1区のうち、次にあげる文字（中点、仮名又は漢字に準じるもの） <table border="1" data-bbox="326 1533 623 1921"> <thead> <tr> <th>区点</th> <th>UCS</th> <th>文字</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1-6</td><td>30FB</td><td>・</td></tr> <tr><td>1-19</td><td>30FD</td><td>ゝ</td></tr> <tr><td>1-20</td><td>30FE</td><td>ゞ</td></tr> <tr><td>1-21</td><td>309D</td><td>ゝ</td></tr> <tr><td>1-22</td><td>309E</td><td>ゞ</td></tr> <tr><td>1-24</td><td>4EDD</td><td>全</td></tr> <tr><td>1-25</td><td>3005</td><td>々</td></tr> </tbody> </table>	区点	UCS	文字	1-6	30FB	・	1-19	30FD	ゝ	1-20	30FE	ゞ	1-21	309D	ゝ	1-22	309E	ゞ	1-24	4EDD	全	1-25	3005	々	<p>株式会社日本レジストリサービス（以下「当社」という）が取り扱う「gTLD等ドメイン名登録等に関する規則」（以下「登録規則」という）別表「gTLD等ドメイン名一覧」のドメイン名（以下「gTLD等ドメイン名」という）における文字種別と文字列を以下に規定する。</p> <p>「ドメイン名」は、ラベルをピリオド（"."）で区切って連結した文字列である。</p> <p>「ラベル」は、本技術細則により定められるASCIIラベルおよび日本語ラベルにより構成される。</p> <p>「ASCIIラベル」は、英字（"A"から"Z"）、数字（"0"から"9"）、ハイフン（"-"）からなる文字列である。ただし、ASCIIラベルの先頭と末尾の文字はハイフンであってはならない。ASCIIラベルの長さは、63文字以下でなければならない。ASCIIラベル中では、英字の大文字・小文字の区別はなく同じ文字とみなされる。</p> <p>「日本語ラベル」は、本技術細則により定められる日本語文字を1文字以上含む、日本語文字および英字（"A"から"Z"）、数字（"0"から"9"）、ハイフン（"-"）からなる文字列である。ただし、日本語ラベルの先頭と末尾の文字はハイフンであってはならない。日本語ラベルの長さは、15文字以下でなければならない。日本語ラベル中では、英字の大文字・小文字の区別はなく同じ文字とみなされる。</p> <p>「日本語文字」は、「JIS X 0208:1997 7ビットおよび7ビットの2バイト情報交換用符号化漢字集合」（以下「JIS X 0208:1997」という）における符号表のうち、次にあげる文字により構成される。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 4区の文字（平仮名） (2) 5区の文字（片仮名） (3) 16区から84区の文字（漢字） (4) 1区のうち、次にあげる文字（中点、仮名又は漢字に準じるもの） <table border="1" data-bbox="1484 1533 1780 1921"> <thead> <tr> <th>区点</th> <th>UCS</th> <th>文字</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1-6</td><td>30FB</td><td>・</td></tr> <tr><td>1-19</td><td>30FD</td><td>ゝ</td></tr> <tr><td>1-20</td><td>30FE</td><td>ゞ</td></tr> <tr><td>1-21</td><td>309D</td><td>ゝ</td></tr> <tr><td>1-22</td><td>309E</td><td>ゞ</td></tr> <tr><td>1-24</td><td>4EDD</td><td>全</td></tr> <tr><td>1-25</td><td>3005</td><td>々</td></tr> </tbody> </table>	区点	UCS	文字	1-6	30FB	・	1-19	30FD	ゝ	1-20	30FE	ゞ	1-21	309D	ゝ	1-22	309E	ゞ	1-24	4EDD	全	1-25	3005	々	
区点	UCS	文字																																																
1-6	30FB	・																																																
1-19	30FD	ゝ																																																
1-20	30FE	ゞ																																																
1-21	309D	ゝ																																																
1-22	309E	ゞ																																																
1-24	4EDD	全																																																
1-25	3005	々																																																
区点	UCS	文字																																																
1-6	30FB	・																																																
1-19	30FD	ゝ																																																
1-20	30FE	ゞ																																																
1-21	309D	ゝ																																																
1-22	309E	ゞ																																																
1-24	4EDD	全																																																
1-25	3005	々																																																

gTLD等ドメイン名登録等に関する技術細則（修正履歴付き）	gTLD等ドメイン名登録等に関する技術細則（整形版）	備考																														
<p>1-26 3006 む</p> <p>1-27 3007 ○</p> <p>1-28 30FC ー</p> <p>-----</p> <p>区点: JIS X 0208:1997における区点番号。</p> <p>UCS: The Unicode Standard, Version 3.2.0 (以下「Unicode」という) の符号表における文字位置を示す番号。</p> <p>「区切り文字」は、次にあげる文字により構成される。ラベルには、区切り文字は含まれない。</p> <p>(1) 「JIS X 0201:1997 7ビット及び8ビットの情報交換用符号化文字集合」(以下「JIS X 0201:1997」という) における区切り文字</p> <table border="1" data-bbox="326 903 890 1060"> <thead> <tr> <th>8ビット符号 (16進数)</th> <th>UCS</th> <th>図形記号</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10/1 (A1)</td> <td>FF61</td> <td>。</td> </tr> </tbody> </table> <p>-----</p> <p>8ビット符号: JIS X 0201:1997の8ビット符号表における位置。</p> <p>(2) JIS X 0208:1997における区切り文字</p> <table border="1" data-bbox="326 1302 623 1501"> <thead> <tr> <th>区点</th> <th>UCS</th> <th>文字</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1-3</td> <td>3002</td> <td>。</td> </tr> <tr> <td>1-5</td> <td>FF0E</td> <td>.</td> </tr> </tbody> </table> <p>-----</p> <p>ドメイン名を構成する最も右側のラベルを「トップレベルドメイン名」と呼び、以下左へ順に「第2レベルドメイン名」、「第3レベルドメイン名」、...と呼ぶ。</p> <p>「ネームサーバホスト名」は、ネームサーバ設定の際に指定されるドメインネームサーバ (以下「ネームサーバ」という) の名称である。ネームサーバホスト名は、3つ以上のラベルをピリオド (".") で区切って連結した文字列である。</p>	8ビット符号 (16進数)	UCS	図形記号	10/1 (A1)	FF61	。	区点	UCS	文字	1-3	3002	。	1-5	FF0E	.	<p>1-26 3006 む</p> <p>1-27 3007 ○</p> <p>1-28 30FC ー</p> <p>-----</p> <p>区点: JIS X 0208:1997における区点番号。</p> <p>UCS: The Unicode Standard, Version 3.2.0 (以下「Unicode」という) の符号表における文字位置を示す番号。</p> <p>「区切り文字」は、次にあげる文字により構成される。ラベルには、区切り文字は含まれない。</p> <p>(1) 「JIS X 0201:1997 7ビット及び8ビットの情報交換用符号化文字集合」(以下「JIS X 0201:1997」という) における区切り文字</p> <table border="1" data-bbox="1498 903 2062 1060"> <thead> <tr> <th>8ビット符号 (16進数)</th> <th>UCS</th> <th>図形記号</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10/1 (A1)</td> <td>FF61</td> <td>。</td> </tr> </tbody> </table> <p>-----</p> <p>8ビット符号: JIS X 0201:1997の8ビット符号表における位置。</p> <p>(2) JIS X 0208:1997における区切り文字</p> <table border="1" data-bbox="1498 1302 1795 1501"> <thead> <tr> <th>区点</th> <th>UCS</th> <th>文字</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1-3</td> <td>3002</td> <td>。</td> </tr> <tr> <td>1-5</td> <td>FF0E</td> <td>.</td> </tr> </tbody> </table> <p>-----</p> <p>ドメイン名を構成する最も右側のラベルを「トップレベルドメイン名」と呼び、以下左へ順に「第2レベルドメイン名」、「第3レベルドメイン名」、...と呼ぶ。</p> <p>「ネームサーバホスト名」は、ネームサーバ設定の際に指定されるドメインネームサーバ (以下「ネームサーバ」という) の名称である。ネームサーバホスト名は、3つ以上のラベルをピリオド (".") で区切って連結した文字列である。</p>	8ビット符号 (16進数)	UCS	図形記号	10/1 (A1)	FF61	。	区点	UCS	文字	1-3	3002	。	1-5	FF0E	.	
8ビット符号 (16進数)	UCS	図形記号																														
10/1 (A1)	FF61	。																														
区点	UCS	文字																														
1-3	3002	。																														
1-5	FF0E	.																														
8ビット符号 (16進数)	UCS	図形記号																														
10/1 (A1)	FF61	。																														
区点	UCS	文字																														
1-3	3002	。																														
1-5	FF0E	.																														

gTLD等ドメイン名登録等に関する技術細則（修正履歴付き）	gTLD等ドメイン名登録等に関する技術細則（整形版）	備考
<p>2. gTLD等ドメイン名の種類と構成</p> <p>当社が取り扱うgTLD等ドメイン名の種類は、登録規則別表「gTLD等ドメイン名一覧」で規定する。</p> <p>gTLD等ドメイン名の構成は、次の通りである。</p> <p style="text-align: center;">〈ラベル〉.〈TLD〉</p> <p>〈TLD〉は、登録規則別表「gTLD等ドメイン名一覧」で規定しているトップレベルドメイン名のいずれかである。〈TLD〉が“ASIA”であるgTLD等ドメイン名を「ASIAドメイン名」、”BIZ”であるgTLD等ドメイン名を「BIZドメイン名」、…と呼ぶ。</p> <p>「ASCIIドメイン名」は、gTLD等ドメイン名のうち、〈ラベル〉がASCIIラベルであるドメイン名である。ASCIIドメイン名の〈ラベル〉は、3文字以上でなければならない。</p> <p>「日本語ドメイン名」は、gTLD等ドメイン名のうち、〈ラベル〉が日本語ラベルであるドメイン名である。日本語ドメイン名の〈ラベル〉は、1文字以上でなければならない。</p> <p>3. 申請文字列の正規化</p> <p>「申請文字列」は、当社への登録申請の際に、ドメイン名およびネームサーバホスト名として指定される文字列である。</p> <p>申請文字列には本技術細則により定められる互換用文字を含んでよい（付録1「互換用文字」を参照）。</p> <p>「正規化」は、申請文字列によって構成された各文字を、後述の手順に従って変換することである。</p> <p>正規化は、ピリオド（“.”）または区切り文字で分割した文字列単位で行う。ラベルは正規化後の文字列である。ラベルの連結はピリオド（“.”）で行う。</p> <p>gTLD等ドメイン名における正規化は、次の手順により行う。</p>	<p>2. gTLD等ドメイン名の種類と構成</p> <p>当社が取り扱うgTLD等ドメイン名の種類は、登録規則別表「gTLD等ドメイン名一覧」で規定する。</p> <p>gTLD等ドメイン名の構成は、次の通りである。</p> <p style="text-align: center;">〈ラベル〉.〈TLD〉</p> <p>〈TLD〉は、登録規則別表「gTLD等ドメイン名一覧」で規定しているトップレベルドメイン名のいずれかである。〈TLD〉が“ASIA”であるgTLD等ドメイン名を「ASIAドメイン名」、”BIZ”であるgTLD等ドメイン名を「BIZドメイン名」、…と呼ぶ。</p> <p>「ASCIIドメイン名」は、gTLD等ドメイン名のうち、〈ラベル〉がASCIIラベルであるドメイン名である。ASCIIドメイン名の〈ラベル〉は、3文字以上でなければならない。</p> <p>「日本語ドメイン名」は、gTLD等ドメイン名のうち、〈ラベル〉が日本語ラベルであるドメイン名である。日本語ドメイン名の〈ラベル〉は、1文字以上でなければならない。</p> <p>3. 申請文字列の正規化</p> <p>「申請文字列」は、当社への登録申請の際に、ドメイン名およびネームサーバホスト名として指定される文字列である。</p> <p>申請文字列には本技術細則により定められる互換用文字を含んでよい（付録1「互換用文字」を参照）。</p> <p>「正規化」は、申請文字列によって構成された各文字を、後述の手順に従って変換することである。</p> <p>正規化は、ピリオド（“.”）または区切り文字で分割した文字列単位で行う。ラベルは正規化後の文字列である。ラベルの連結はピリオド（“.”）で行う。</p> <p>gTLD等ドメイン名における正規化は、次の手順により行う。</p>	

gTLD等ドメイン名登録等に関する技術細則（修正履歴付き）	gTLD等ドメイン名登録等に関する技術細則（整形版）	備考																		
<p>(1) 付録2「正規化における文字置換の方式」により定められる方式 (2) 付録3「正規化における文字合成の方式」により定められる方式</p> <p>当社がレジストリに対して登録するドメイン名およびネームサーバホスト名は、正規化後の文字列を使用する。正規化後の文字列に日本語文字が1文字も含まれないラベルは、ASCIIラベルとして取り扱う。</p> <p>4. ネームサーバ設定における日本語ラベルのエンコーディング</p> <p>ネームサーバ設定の際に、対象となるドメイン名およびネームサーバホスト名に日本語ラベルが含まれている場合、本技術細則「3. 申請文字列の正規化」に規定する方式により正規化を行う。その正規化した日本語ラベルをUnicodeに変換し、RFC5891で定義される次の手順によりエンコーディングした文字列と置き換える。</p> <p>(1) RFC3492で定義されるアルゴリズムによりエンコーディングを行う (2) RFC5890で定義されるプレフィックスを前置する</p> <p>JIS X 0208:1997からUnicodeへの変換の際の対応表として、付録4「日本語文字一覧」により示される対応表を使用する。</p> <p>5. gTLD等ドメイン名に設定可能な署名鍵の形式</p> <p>「署名鍵」は、DNSのリソースレコードであるDSレコードのRDATA部である次にあげる (1) から (4) の4要素（RFC4034参照）の値を空白文字にて連結した文字列である。登録原簿には、その署名鍵の形式で記載する。</p> <p>(1) 鍵タグ 対応するDNSKEYレコードから生成した整数値</p> <p>(2) アルゴリズム 対応するDNSKEYレコードのアルゴリズムを示す次にあげる整数値のいずれか</p> <table border="0" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">整数値</td> <td style="text-align: center;">アルゴリズム</td> <td style="text-align: center;">参照RFC</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">-----</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">3</td> <td style="text-align: center;">DSA</td> <td style="text-align: center;">RFC4034</td> </tr> </table>	整数値	アルゴリズム	参照RFC	-----			3	DSA	RFC4034	<p>(1) 付録2「正規化における文字置換の方式」により定められる方式 (2) 付録3「正規化における文字合成の方式」により定められる方式</p> <p>当社がレジストリに対して登録するドメイン名およびネームサーバホスト名は、正規化後の文字列を使用する。正規化後の文字列に日本語文字が1文字も含まれないラベルは、ASCIIラベルとして取り扱う。</p> <p>4. ネームサーバ設定における日本語ラベルのエンコーディング</p> <p>ネームサーバ設定の際に、対象となるドメイン名およびネームサーバホスト名に日本語ラベルが含まれている場合、本技術細則「3. 申請文字列の正規化」に規定する方式により正規化を行う。その正規化した日本語ラベルをUnicodeに変換し、RFC5891で定義される次の手順によりエンコーディングした文字列と置き換える。</p> <p>(1) RFC3492で定義されるアルゴリズムによりエンコーディングを行う (2) RFC5890で定義されるプレフィックスを前置する</p> <p>JIS X 0208:1997からUnicodeへの変換の際の対応表として、付録4「日本語文字一覧」により示される対応表を使用する。</p> <p>5. gTLD等ドメイン名に設定可能な署名鍵の形式</p> <p>「署名鍵」は、DNSのリソースレコードであるDSレコードのRDATA部である次にあげる (1) から (4) の4要素（RFC4034参照）の値を空白文字にて連結した文字列である。登録原簿には、その署名鍵の形式で記載する。</p> <p>(1) 鍵タグ 対応するDNSKEYレコードから生成した整数値</p> <p>(2) アルゴリズム 対応するDNSKEYレコードのアルゴリズムを示す次にあげる整数値のいずれか</p> <table border="0" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">整数値</td> <td style="text-align: center;">アルゴリズム</td> <td style="text-align: center;">参照RFC</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">-----</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">3</td> <td style="text-align: center;">DSA</td> <td style="text-align: center;">RFC4034</td> </tr> </table>	整数値	アルゴリズム	参照RFC	-----			3	DSA	RFC4034	
整数値	アルゴリズム	参照RFC																		

3	DSA	RFC4034																		
整数値	アルゴリズム	参照RFC																		

3	DSA	RFC4034																		

gTLD等ドメイン名登録等に関する技術細則（修正履歴付き）	gTLD等ドメイン名登録等に関する技術細則（整形版）	備考																														
<table border="0"> <tr><td>5</td><td>RSASHA1</td><td>RFC4034</td></tr> <tr><td>6</td><td>DSA-NSEC3-SHA1</td><td>RFC5155</td></tr> <tr><td>7</td><td>RSASHA1-NSEC3-SHA1</td><td>RFC5155</td></tr> <tr><td>8</td><td>RSASHA256</td><td>RFC5702</td></tr> <tr><td>10</td><td>RSASHA512</td><td>RFC5702</td></tr> </table> <hr/>	5	RSASHA1	RFC4034	6	DSA-NSEC3-SHA1	RFC5155	7	RSASHA1-NSEC3-SHA1	RFC5155	8	RSASHA256	RFC5702	10	RSASHA512	RFC5702	<table border="0"> <tr><td>5</td><td>RSASHA1</td><td>RFC4034</td></tr> <tr><td>6</td><td>DSA-NSEC3-SHA1</td><td>RFC5155</td></tr> <tr><td>7</td><td>RSASHA1-NSEC3-SHA1</td><td>RFC5155</td></tr> <tr><td>8</td><td>RSASHA256</td><td>RFC5702</td></tr> <tr><td>10</td><td>RSASHA512</td><td>RFC5702</td></tr> </table> <hr/>	5	RSASHA1	RFC4034	6	DSA-NSEC3-SHA1	RFC5155	7	RSASHA1-NSEC3-SHA1	RFC5155	8	RSASHA256	RFC5702	10	RSASHA512	RFC5702	
5	RSASHA1	RFC4034																														
6	DSA-NSEC3-SHA1	RFC5155																														
7	RSASHA1-NSEC3-SHA1	RFC5155																														
8	RSASHA256	RFC5702																														
10	RSASHA512	RFC5702																														
5	RSASHA1	RFC4034																														
6	DSA-NSEC3-SHA1	RFC5155																														
7	RSASHA1-NSEC3-SHA1	RFC5155																														
8	RSASHA256	RFC5702																														
10	RSASHA512	RFC5702																														
<p>(3) ダイジェストタイプ ダイジェストタイプを示す次にあげる整数値のいずれか</p> <table border="0"> <thead> <tr> <th>整数値</th> <th>ダイジェストタイプ</th> <th>参照RFC</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>SHA-1</td><td>RFC4034</td></tr> <tr><td>2</td><td>SHA-256</td><td>RFC4509</td></tr> </tbody> </table> <hr/>	整数値	ダイジェストタイプ	参照RFC	1	SHA-1	RFC4034	2	SHA-256	RFC4509	<p>(3) ダイジェストタイプ ダイジェストタイプを示す次にあげる整数値のいずれか</p> <table border="0"> <thead> <tr> <th>整数値</th> <th>ダイジェストタイプ</th> <th>参照RFC</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>SHA-1</td><td>RFC4034</td></tr> <tr><td>2</td><td>SHA-256</td><td>RFC4509</td></tr> </tbody> </table> <hr/>	整数値	ダイジェストタイプ	参照RFC	1	SHA-1	RFC4034	2	SHA-256	RFC4509													
整数値	ダイジェストタイプ	参照RFC																														
1	SHA-1	RFC4034																														
2	SHA-256	RFC4509																														
整数値	ダイジェストタイプ	参照RFC																														
1	SHA-1	RFC4034																														
2	SHA-256	RFC4509																														
<p>(4) ダイジェスト 対応するDNSKEYレコードのメッセージダイジェストを16進数で表した文字列</p>	<p>(4) ダイジェスト 対応するDNSKEYレコードのメッセージダイジェストを16進数で表した文字列</p>																															
<p>6. 制限事項</p> <p>6.1 ネームサーバホスト名における制限事項</p> <p>ネームサーバホスト名のトップレベルドメイン名がgTLDの場合、そのネームサーバホスト名は、当該gTLDのレジストリデータベースに登録されているgTLD等ドメイン名に含まれるものでなければならない。当社は、この制限事項に反するネームサーバホスト名を登録原簿から抹消することができる。</p> <p>ネームサーバホスト名には、次にあげるラベルを含んではならない。</p> <p>(1) “*--”（“*”は任意の1文字）で始まるラベル</p> <p>6.2 電子メールアドレスにおける制限事項</p> <p>登録者またはAdminコンタクトなどの申請情報として登録される電子メールアドレスのドメイン名部分（電子メールアドレスにおける“@”の右側）には、次にあげるラベルを含んではならない。</p>	<p>6. 制限事項</p> <p>6.1 ネームサーバホスト名における制限事項</p> <p>ネームサーバホスト名のトップレベルドメイン名がgTLDの場合、そのネームサーバホスト名は、当該gTLDのレジストリデータベースに登録されているgTLD等ドメイン名に含まれるものでなければならない。当社は、この制限事項に反するネームサーバホスト名を登録原簿から抹消することができる。</p> <p>ネームサーバホスト名には、次にあげるラベルを含んではならない。</p> <p>(1) “*--”（“*”は任意の1文字）で始まるラベル</p> <p>6.2 電子メールアドレスにおける制限事項</p> <p>登録者またはAdminコンタクトなどの申請情報として登録される電子メールアドレスのドメイン名部分（電子メールアドレスにおける“@”の右側）には、次にあげるラベルを含んではならない。</p>																															

gTLD等ドメイン名登録等に関する技術細則（修正履歴付き）	gTLD等ドメイン名登録等に関する技術細則（整形版）	備考												
<p>(1) “*--”（*は任意の1文字）で始まるラベル (2) 日本語ラベル</p> <p>6.3 URIにおける制限事項</p> <p>登録者またはAdminコンタクトなどの申請情報として登録されるURIのホスト名部分には、次にあげるラベルを含んではならない。</p> <p>(1) “*--”（*は任意の1文字）で始まるラベル</p> <p>6.4 ネームサーバ設定における制限事項</p> <p>gTLD等ドメイン名に対してネームサーバ設定を行う場合、設定するネームサーバが2つ以上ないと、レジストリのドメインネームサーバに登録されない場合がある。</p> <p>6.5 署名鍵における制限事項</p> <p>gTLD等ドメイン名に設定された署名鍵がセキュリティやその他の問題を引き起こす可能性があるとして当社が判断した場合、当社は署名鍵を登録原簿から抹消することができる。</p> <p>7. 予約ドメイン名</p> <p>ICANNまたはレジストリは、特定のgTLD等ドメイン名を、すべての組織が登録できないドメイン名として、ないしは特定の組織を除いて登録できないドメイン名として指定する場合がある。これを予約ドメイン名と呼ぶ。</p> <p>8. 各gTLD等ドメイン名個別の技術上の要件</p> <p>各gTLD等ドメイン名個別の技術上の要件は、次の通りである。</p> <table border="0" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%; text-align: left;">gTLD等ドメイン名</td> <td style="width: 70%; text-align: left;">制限事項</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="border-top: 1px dashed black; height: 5px;"></td> </tr> <tr> <td>ASIAドメイン名</td> <td>署名鍵は設定できない</td> </tr> </table>	gTLD等ドメイン名	制限事項			ASIAドメイン名	署名鍵は設定できない	<p>(1) “*--”（*は任意の1文字）で始まるラベル (2) 日本語ラベル</p> <p>6.3 URIにおける制限事項</p> <p>登録者またはAdminコンタクトなどの申請情報として登録されるURIのホスト名部分には、次にあげるラベルを含んではならない。</p> <p>(1) “*--”（*は任意の1文字）で始まるラベル</p> <p>6.4 ネームサーバ設定における制限事項</p> <p>gTLD等ドメイン名に対してネームサーバ設定を行う場合、設定するネームサーバが2つ以上ないと、レジストリのドメインネームサーバに登録されない場合がある。</p> <p>6.5 署名鍵における制限事項</p> <p>gTLD等ドメイン名に設定された署名鍵がセキュリティやその他の問題を引き起こす可能性があるとして当社が判断した場合、当社は署名鍵を登録原簿から抹消することができる。</p> <p>7. 予約ドメイン名</p> <p>ICANNまたはレジストリは、特定のgTLD等ドメイン名を、すべての組織が登録できないドメイン名として、ないしは特定の組織を除いて登録できないドメイン名として指定する場合がある。これを予約ドメイン名と呼ぶ。</p> <p>8. 各gTLD等ドメイン名個別の技術上の要件</p> <p>各gTLD等ドメイン名個別の技術上の要件は、次の通りである。</p> <table border="0" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%; text-align: left;">gTLD等ドメイン名</td> <td style="width: 70%; text-align: left;">制限事項</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="border-top: 1px dashed black; height: 5px;"></td> </tr> <tr> <td>ASIAドメイン名</td> <td>署名鍵は設定できない</td> </tr> </table>	gTLD等ドメイン名	制限事項			ASIAドメイン名	署名鍵は設定できない	
gTLD等ドメイン名	制限事項													
ASIAドメイン名	署名鍵は設定できない													
gTLD等ドメイン名	制限事項													
ASIAドメイン名	署名鍵は設定できない													

gTLD等ドメイン名登録等に関する技術細則（修正履歴付き）		gTLD等ドメイン名登録等に関する技術細則（整形版）		備考
INFOドメイン名	日本語ドメイン名は登録できない	INFOドメイン名	日本語ドメイン名は登録できない	一般登録開始当初は日本語ドメイン名の登録は受け付けていないため、追記
MOBIドメイン名	日本語ドメイン名は登録できない 署名鍵は設定できない	MOBIドメイン名	日本語ドメイン名は登録できない 署名鍵は設定できない	
ORGドメイン名	日本語ドメイン名は登録できない	ORGドメイン名	日本語ドメイン名は登録できない	
<u>OSAKAドメイン名</u>	<u>日本語ドメイン名は登録できない</u>	OSAKAドメイン名	日本語ドメイン名は登録できない	
CCドメイン名	署名鍵は設定できない	CCドメイン名	署名鍵は設定できない	
TVドメイン名	署名鍵は設定できない	TVドメイン名	署名鍵は設定できない	
-----		-----		
9. 本技術細則の例外		9. 本技術細則の例外		
<p>本技術細則の定めにかかわらず、当社は、個別事情に基づき、ICANNまたはレジストリの定める技術上の要件に反しない範囲で、本技術細則の例外を認める場合がある。</p>		<p>本技術細則の定めにかかわらず、当社は、個別事情に基づき、ICANNまたはレジストリの定める技術上の要件に反しない範囲で、本技術細則の例外を認める場合がある。</p>		